

Good Choice

グッドチョイス

まちの話題をお寄せください。

総務課 広報広聴係 ☎75-2280 / FAX75-2110

▶児童・生徒代表と関係者が出席して行われた除幕式（写真は西溪校）



郷土の偉人を身近に感じて

志田林三郎博士顕彰碑除幕式

4月12日、市内各小中一貫校で、志田林三郎博士顕彰碑除幕式を行いました。

顕彰碑は、努力を重ね、偉大な功績を残した林三郎博士に学んで、児童・生徒が目標を持って、努力する励みになるようにと、志田林三郎博士顕彰会（横尾俊彦会長）により設置されました。

顕彰碑は高さ180cm、幅38cmの石柱に青銅製の肖像画をかたどったレリーフが飾られています。レリーフは、東京の国立科学博物館に飾られているレリーフの型枠を使って作成されたものです。

除幕式には、林三郎博士のひ孫にあたるカイザー陽子さん（米国・ボストン在住）も出席し、「多久は私のルーツ。曾祖父は多久の地に生まれたからこそ、学ぶことができました。みなさんも世界に羽ばたく人間になってください」と児童・生徒へ言葉を贈りました。

小中一貫教育の歴史の第一歩を踏み出す

各小中一貫校で第1回入学式

小中一貫校になって初めての入学式が、東部校と西溪校は小中合同、中央校は小中別で4月11日に行われ、小学生（1年生）162人、中学生（7年生）189人が新しい学校生活をスタートさせました。

中央校では、太田春美校長が式辞で「登下校時に旧南部小で実践されていた、『よろしくお願ひします』『ありがとうございました』の気持ちを込めた校門でのお辞儀を、中央校でも行いましょう」と話しました。また、東部校では9年生（中3）が1年生（小1）の手を引いて入場。西溪校では新しくできた制服で1年生が登校し、小中一貫教育の歴史の第一歩を踏み出しました。

最初の入学生となった1年生は、初めて見る電子黒板に興味津々。お友だちもでき、新しい学校生活にワクワクしていました。



▲初めての教室で、元気に返事する中央小1年2組の児童

安全運転をお願いします

4/8

『守ろう交通ルール 高めよう交通マナー』を運動スローガンに実施された『春の交通安全県民運動』に合わせ、南多久町で交通安全マナーアップキャンペーンを行いました。



小城警察署はじめ、多久地区交通安全協会、交通安全母の会、交通安全指導員、こばと保育園児ら全部で約50人が参加。保育園児たちは、「安全運転をお願いします」と元気な声で交通安全啓発チラシ等をドライバーに渡し、安全運転を呼びかけました。

多久市メガソーラー発電事業安全祈願祭

4/8

多久町の多久みず環境保全センター南側の市有地に建設され、メガソーラー発電施設建設工事の安全祈願祭が行われました。



市有地の貸与を受け発電事業を行う、株式会社九電工の山本泰弘佐賀支店長は「再生エネルギーの発信基地となれるよう、地域のみなさんと一緒に取り組んでいきたい」とあいさつ。今年10月に運転開始が予定されており、年間約113万kwh（一般世帯の約310世帯分）の発電が可能となります。